



体協だより

発行 (公社)東村山市体育協会
 東村山市久米川町3-30-5
 東村山市民スポーツセンター内
 TEL 042-397-1212
 FAX 042-398-5543
 発行人 会長 齋藤直広
 編集 体育協会広報部
 発行年 令和6年3月31日
 第60号



スポーツ協会として新たなスタート 令和6年4月名称変更

(公社) 東村山市体育協会 会長 齋藤 直広

まず初めに、令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々にお悔みを申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げ、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて東村山市体育協会は、令和6年4月1日から「東村山市スポーツ協会」に名称を変更いたします。

現在「スポーツ」は、競技として行うものだけでなく、健康維持の運動、新たなルール・スタイルで行うニュースポーツなども含め、体育や身体活動の概念も昭和39年に設立後、創立60周年を迎える年、社会的機運に乗じ名称変更することいたしました。そして「体育協会」と「スポーツ協会」の目的「市民の健康維持・増進ならびに市民相互の融和を図り明るく豊かな市民形成に寄与する」は共通であります。体育とスポーツの差異は、スポーツには「楽しい、オモシロイ」が含まれると考えます。結ぶに、今後も行政ならびに関係団体と協力し、各種スポーツ振興を推進していきます。

名称・シンボルマーク変更 スポーツ協会へ

体育協会は創立60周年を迎えます。これを機に名称変更を行うことが令和5年6月の定時総会で可決承認されました。

また、シンボルマークの変更についても検討を重ね、決定しました。新しいデザインは躍動的な無限のスポーツの動きが表現され、東村山市の花である「つつじ」を取り入れたものです。東村山市を象徴するエレメントでありスポーツを通じて市民の健康と交流を深めていくというメッセージが込められています。



新シンボルマーク

市民体育大会 総合開会式 35加盟団体と 13町体力づくりが参加

第60回市民体育大会総合開会式が8月27日、市民スポーツセンターで行われました。

体育協会加盟35団体、13町体力づくり推進委員会、スポーツ優秀選手受賞者、来賓、役員など420人が参加しました。

開会式は体育協会会長による開式通告で始まり、ガールスカウト東京連盟第134団による大会旗の入場、国歌斉唱、渡部東村山市長の主催者挨拶、スポーツ優秀選手表彰などが続き、小町市議会議長の来賓挨拶、選手宣誓などが続きました。



総合開会式



スポレク ギネス記録に挑戦

東村山市出身の元プロ野球選手である鳥谷敬さんによる市長とのトークセッションと野球教室や、バレーボール体験、車いすバスケットの体験が行われました。また、プロ書道家による大迫力の書道パフォーマンス、eスポーツや次世代のARスポーツHAD O体験、13町体力づくり推進委員会によるポッチャ体験など館内全体を使って盛りだくさんのコーナーがありました。

ぐるスポ開催 市民大運動会に 代わる事業

令和5年10月9日(月)スポーツの日に、市民大運動会に代わる新しいスポーツイベントとして「ぐるスポ」が、市民スポーツセンターにて開催されました。当日はあいにくの雨ではありましたが、約3100人の方が来場され、会場を「ぐるぐる」巡り、いろいろなスポーツを体験し、またグルメを堪能され、楽しい一日を過ごされました。

体育協会は第2体育室、第1・第2武道場を担当し「スポレクフェスティバル」として、8つの加盟団体の協力のもと、弓道・剣道・柔道・ユニカー・ゲートボール・グラウンドゴルフ・スポーツウエルネス吹矢・ビーチボールの体験教室、プロダブルタッチチームによるダブルダブル体験コーナーを実施しました。参加者が初めて体験する種目もあり、とても好評でした。また、事業部が企画・検討した「ギネス種目に挑戦」や「あそびのコーナー」も大盛況でした。スポレクフェスティバルへの参加者数は役員を含め約1500人でした。



スポレク 弓道体験

スポーツの定義

市民スポーツ課長 川崎 基司

ライフスタイルや個人の価値観の変化に伴い市民のスポーツ活動についても、求められる役割は多様化しています。当市を取り巻くスポーツの現状と課題を整理し、より一層のスポーツの推進を図るため、平成31年3月に「東村山市スポーツ施策基本方針」を策定しました。

スポーツとは、人生を楽しく健康で生き生きとしたものにするためのものであり、勝敗の追求、自分のペースで楽しむ、だれもが自由に身体を動かす、自由に観戦し、楽しむものであるべきで、だれもが幸福で豊かな生活を営むための一助となるものとして、身体を使って楽しむものとしています。スポーツの果たす役割の多様化を踏まえ、スポーツを技術や能力の向上を目的とした競技スポーツだけでなく、健康づくりや介護予防、趣味や仲間との交流を目的としたウォーキングや散歩、ジョギング、サイクリング、子供の外遊びやレクリエーションスポーツ、通学・通学時の徒歩など、自発的に行う身体活動のすべてをスポーツとして定義します。

スポーツ教室

令和5年度スポーツ教室は、前期、中期、後期ともに幼児から高齢者まで、各世代の方々に参加いただけるよう企画し、参加者が次の期を心待ちにするほど、どのコースも満足いただけました。

今年度のスポーツ体験教室では、スポーツウエルネス吹矢協会、ゲートボール協会、なぎなた連盟、太極拳連盟、ユニカール協会、さらにスポーツ推進委員会にも協力いただき、それぞれ4日間の体験教室を開催し、各々の種目の楽しさを参加者へ伝えました。

内容は昨年と同様のコースの他に、新たに加わったコースもあります。「こどもチャレンジスポーツ」や「エンジョイスポート」は体育協会加盟団体や外部団体に協力をいただいていたの開催となりましたが、毎期3〜4種目のスポーツを体験し、参加者一人ひとりに合ったスポーツに巡り合うきっかけづくりになればとの思いで企画しました。「初めての太極拳」は講師の方々の細やかな指導のおかげで大好評のうちに終了し、その後はサークルが立ち上がるほどの人気で、現在もその活動は続き、スポーツ教室事業が目標としているものが達成できたように思えます。

できない方でも気軽に参加できるように「初めてスイミング」という新名称で募集を行い、全く泳げない方の参加も少しずつ増えてきました。



スポーツ教室 チャレンジスポーツ 卓球



スポーツ教室 チャレンジスポーツ ゲートボール

(公社)東村山市体育協会
ホームページのQRコード
です。ご活用ください。



スイミングのコースではこれまでの課題でもあった「経験者ばかりが毎回参加するコース」ではなく、スイミングの経験が全くなく、顔を水に浸けることも

スポーツ教室 開催種目	前期	中期	後期
やさしい体幹体操と歩き方	○	○	○
体幹体操と歩き方	○	○	○
すこやか体操	○	○	○
初めてのダンスエアロビクス	○	○	○
初めての太極拳	○	○	○
こどもチャレンジスポーツ	○	○	○
運動あそび	○	○	○
チャレンジスポーツ (中期)	○	○	○
エンジョイスポート (後期)	○	○	○
初めてスイミング	○	○	○
スイミング木曜 初級・初中級	○	○	○
スイミング木曜 中級	○	○	○
スポーツ体験教室 開催種目			
スポーツウエルネス吹矢体験	全4回		
初めてのなぎなた	全4回		
初めての太極拳	全4回		
初めてのゲートボール&ボッチャ	全4回		
初めてのユニカール	全4回		

までの若い時代にスポーツに触れることで生涯にわたるスポーツに親しむことのできるきっかけを創ることです。だからこそ、正しい基礎・基本を楽しく指導できる指導者に依頼できるかが大きなポイントとなります。そのため主管団体にとって非

ジュニア育成推進事業 シニアスポーツ振興事業 令和5年度も 団体が実施

常にハードルの高い事業です。

今年度は、①サッカー中学生、②サッカー小学生5年生男女、③少年軟式野球小学校5年生男女、④硬式テニス教室小学生から高校生男女、⑤硬式テニス大会小学生から高校生男女、⑥ソフトテニス教室中学生男女、⑦ソフトテニス教室中学生男女が実施されました。いずれも国内トップレベルの選手や指導者にきていただきました。種目によっては、テレビで見るだけの選手や日本代表監督、オリンピック選手のメンタルコーチに指導をしていただき、スポーツに対する興味・関心が一層たかめられました。しかし、その陰では感染症対策の配慮や天候によるスケジュール調整等大変な作業もありましたが、全種目無事終了できたのは主管団体の



シニアスポーツ振興事業 ターゲット・バードゴルフ実践塾

です。三種目に共通することは、簡単にできそうであるが、やってみると非常に奥が深いこと。そして、参加することで、そこに仲間が生まれることです。長寿に最も効果的なことは、「孤独(孤毒)ではない」ことだと思います。明日になれば1百年をとります。だから「今が一番若い！」その若さを保つために一人でも多くのシニア世代がこの事業に参加されることを心からお待ちしております。



ジュニア育成地域推進事業 ソフトテニス教室小学生

加盟団体指導者研修会実施 組織の活性化・栄養学

加盟団体役員を対象に今年度も研修会を実施しました。7月9日と11月11日の2日間、「組織の活性化」をテーマに日本女子体育大学の芳地泰幸准教授を講師にお迎えし、実施しました。

組織の活性化はスポーツ団体に限らず様々な団体が日頃の活動の中で直面する大きな課題の一つです。

より良い組織に変わっていくためには目と心で聴く傾聴と、共感的理解でコミュニケーションを円滑にさせることが大切とのこと。参加者の多くの方が真剣に受講する姿が見られました。

また、9月23日には「健康寿命を延伸させる食事」をテーマに、この2つの研修会の資料は体協のHPに掲載されています。ご活用ください。



研修会の実施

(公社)東村山市体育協会 賛助会員名簿 (敬称略)

賛助会員の皆さま

ご協力大変ありがとうございます

- 本町**
- (有)にんや杉田商店 (株)ムラコ
 - シ楽器店 (有)間野建材店 (株)イトーヨーカ堂東村山店 エネットクス(株) 東京みらい農業協同組合東村山支店 (株)中賀堂 東村山市保護司会 (有)ますも庵 中原清子 奈良吉彦 佐々木勝之 進 中山義行 田中宏幸
- 久米川町**
- 久米川幼稚園 桜井忠夫 (株)浅田鉛村山工場 (有)当間石材
- 秋津町**
- むとう武男商店 東光建設(株) ヤマトミ 肥沼克比古 本木とし子 肥沼勝 大西弥生
- 山田修 田口弘 梅岩寺 多摩標識(株) 武田良夫 鈴木久弥 (株)及川土木 鈴木孝雄 吉村正 榎本和美 (株)ダスキン村山 榎本重雄 森脇孝次 武田猛 本橋加苗 間野雅之

柏崎市スポーツ交流 3団体が実施

令和5年度の柏崎市スポーツ交流事業は少年軟式野球連盟、ゴルフ連盟、テニス連盟の3団体が実施しました。

スポーツ交流は47年の歴史を重ね、毎年数団体が実施しています。これまで両市関係者の努力で現在に至っています。

■少年軟式野球連盟

少年軟式野球連盟は平成23年より交流を行っており、途中コロナ感染症拡大のため2年間休止し、2022年度より再開しました。

2年間休止があったといえ、互いに気心知れた同士なので開始後も問題なく進行し、夜の懇親会も大いに盛り上がりました。柏崎では野球ができる期間が



少年軟式野球連盟

限られるので、8月に東村山が柏崎に訪問し海遊びも行き、雪が降る12月に柏崎から来ていただく形にして交流しています。今後両市の子供たちの交流を継続し、関係発展を行ってきたいと思えます。

■ゴルフ連盟

10月26日(木)赤城ゴルフ倶楽部において開催されました。天候にも恵まれ、両チーム合わせて52名(両市26名ずつ)ご参加いただきました。

個人の優勝は飯島さん(43・46 グロス89 ハンディ18 ネット71)柏崎刈羽の方が優勝され、団体は東村山が優勝、連覇できました。



ゴルフ連盟

回を重ね22回、先人の先輩方にも参加いただき盛り上げて頂いて、ゴルフ連盟の皆様、また、体育協会のご支援に感謝の思いでいっぱいです。

■テニス連盟

7月15・16日、柏崎市とのテニス交流を柏崎白竜コートで再開できました。

新型コロナウイルス禍の中断を経て、5年ぶりに両市の選手約80人が参加しました。両市のテニス交流はウィンブルドンなどの世界大会にも出場した太田芳郎氏(東村山市体育協会、初代会長)の縁で始まり今回で32回となります。

近年は2年毎に、柏崎と東村山を相互に訪問しています。当日は暑い日差しが照り付け、



テニス連盟

東村山みんなで走ろう会

多くの市民が参加(4年度事業)

令和5年3月12日、都立狭山公園で第48回東村山みんなで走ろう会(令和4年度事業)が行われました。選手22名、当日スタッフは114名で4年ぶりの開催となりました。

開催された5年3月はコロナ禍であったため感染対策に重点を置き、駅伝の部を取りやめ2.1kmコースを自分のペースで走る本来目的の大会となりました。

小学生は158名参加し、コロナ禍でのコンディションが心配されましたが、参加者全員が無事に完走し、大会を終えることができました。

本大会は順位をつけることをせず、自分のペースで完走することを目的としています。

令和6年3月開催に向けては駅伝大会の復活を目指して準備を進めており、多くのランナーの方の参加をお待ちしています。



青葉町

朝岡晃一 桃井マリコ 内田智啓 東村山市管工事組合 佐藤恒夫 クレーブ (株)保谷納豆

恩多町

(株)JMCトムスポーツ きそばあさひ 当麻洋一 加藤商事 (株)東村山市ソフトボール連盟 東村山イーグルス 大山紀二 曾我伸清 高橋剛一 久野務 田中建具(株) 鈴木昌弘

萩山町

緑風荘病院 (株)中俣電化 岡村設備工業(株) 桑原純 橋本温子 櫻井和雄

栄町

(有)森田運動具店 伊庭小児科 (宗)八坂神社 (株)ロンド・スポーツ 税理士法人土田会計事務所 丸山書房 東村山青年会議所 鈴木克也 WINGスポーツ企画 (有)

富士見町

(有)恒和薬業 飯塚千鶴子 鈴木都紀子 倉島千秋 桑原まさ子 河西啓子 小町幸生

美住町

木村印刷社 (株)キジマ・トータルプラン 篠原雅子 廣居新

廻田町

(株)かいば 笹島モータース 学校法人野澤学園東村山むさしの認定こども園 斉藤直広 池谷俊幸 福山信男 小出高志 川島暢仁 須藤周

多摩湖町

胡桃光江 折笠歯科医院 桑田医院 和久井吉勝

諏訪町

味の店いとう屋 (有)野村吹付 塗装 精心幼稚園 佐藤辰弥 赤木誠

野口町

(有)赤尾杉生花店 (株)増田コーポレーション (株)小島電業社 小町征弘 (株)野澤本社 興和(株) 東京創業研究所 野崎勝利 正 福寺 市川暢男 杉山浩章 飯能信用金庫東村山支店 椎木瑠蔵 山中勝美 川北吉孝 松原巖 高柳剛 中山政利 東村浩二 ☆五十嵐直人

市外

中外徽章(株) 熊谷康 水口富夫 小関禮子 三田村慎一 石橋博 寺島修 野崎満 村木尚生 田上和子 田所徳雄

加盟団体

東村山市太極拳連盟 東村山市ビーチボール協会 東村山市ターゲットバードゴルフ協会

賛助会員募集

本体育協会は、春秋の市民体育大会、各種スポーツ教室等の諸事業を通じて、15万市民のスポーツの振興、体力づくり、親睦を図ることを目的とした公益社団法人です。

申込先

東村山市民スポーツセンター内 397-1212 (事務局直通)

Eメールアドレス

ht-nol@beach.ocn.ne.jp

表彰

文部科学大臣表彰

東村山市ソフトテニス連盟が令和5年10月、文部科学大臣生涯スポーツ優良団体表彰を受賞しました



東村山市ソフトテニス連盟

東京都知事表彰

スポーツ振興功勞

東村山市クレール射撃連盟



東村山市クレール射撃連盟

東京都スポーツ功勞賞

団体

東村山市ゴルフ連盟



東村山市ゴルフ連盟

個人

大山 紀二



大山 紀二

(少年軟式野球連盟)

東京都体育協会表彰

生涯スポーツ功勞者

市川 俊二



市川 俊二

(体協理事・少年軟式野球連盟)

東京都町村体育協会連合会表彰

功勞表彰

長谷川 浩一郎



長谷川 浩一郎

(体協理事・剣道連盟)

東村山市市民功勞表彰

(社会体育功勞表彰のみを掲載)

社会体育功勞

- 谷澤 忠吉 (ユニカール協会)
- 新沼 美智代 (テニス連盟)
- 山内 宗 (ソフトテニス連盟)
- 須藤 周 (体協理事・弓道連盟)

各種大会での上位入賞者

- 第76回都民体育大会(春季大会)
 - 卓球男子 優勝
 - 弓道女子 優勝
 - ねりんピック
 - (第35回全国健康福祉祭ふゆめ大会)
 - スポーツウエルネス吹矢交流大会
 - 乾 貴志 東京Aチーム
 - 男子団体 1位
 - 関根 多三江 高齢者賞
- (令和6年1月18日 市長表敬訪問)



指導者派遣事業

子供たちへのスポーツ応援として平成23年度に水泳から始まった事業です。コロナ禍で中断した年もありましたが、現在は陸上を中心に指導者、学生の派遣を行っています。

今年度は、9月には運動会前の短距離走、11・12月には持久走、2月に走高跳の授業を市内小学校4校に出向き実施しました。大学陸上競技部員による迫力のあるデモンストラクションを間近で見、目を輝かせたり、驚いたりする様子が印象的でした。また、その種目のイメージを自分なりに持ち、体現できる子供たちの吸収の早さに驚きました。



(公社)東村山市体育協会 令和5年度収支予算概要(当初予算) (単位:円)

収 入			支 出		
科 目	予 算 額	備 考	事 業 名	予 算 額	備 考
1 特定資産利息収入	3,000		1 春季市民体育大会	825,000	市補助事業
2 会費収入	2,000,000		2 スポレクフェスティバル	250,000	〃
①正会員会費	1,050,000		3 市民周回駅伝大会	休止	〃
②賛助会員会費	950,000		4 野外活動事業	休止	〃
3 事業収入	21,383,000		5 指導者派遣事業	120,000	〃
①自販機事業	2,200,000		6 体協だより発行事業	330,000	〃
②スポーツ教室事業	2,906,000	市受託事業	7 加盟団体助成事業	2,450,000	市補助事業
③秋季市民体育大会	2,568,000	〃	8 都民体育大会	450,000	〃
④市民体育大会総合開会式	184,000	〃	9 選手派遣事業	275,000	〃
⑤みんなで走ろう会	311,000	〃	10 都民生涯スポーツ大会派遣事業	300,000	〃
⑥運動公園窓口管理業務	7,652,000	〃	11 市町村総合体育大会選手派遣事業	300,000	〃
⑦屋外体育施設整備業務	762,000	〃	12 表彰事業	60,000	〃
⑧ジュニア育成地域推進事業	4,000,000	東京都体育協会受託事業	13 柏崎交流事業	793,000	市補助事業
⑨シニアスポーツ振興事業	800,000	〃	14 スポーツ教室事業	2,906,000	市受託事業
4 補助金収入	34,596,000		15 秋季市民体育大会	2,568,000	〃
①東村山市	34,426,000		16 総合開会式	184,000	〃
②東京都体育協会	170,000		17 みんなで走ろう会	311,000	〃
5 寄付金収入	1,000		18 ジュニア育成事業	4,000,000	都体協受託事業
6 雑収入	31,000		19 シニアスポーツ振興事業	800,000	〃
合 計	58,014,000		20 共通予算	29,286,000	市補助、会員会費他
			21 自販機事業	730,000	収益事業
			22 運動公園窓口業務	7,652,000	市受託事業
			23 屋外体育施設整備事業	762,000	〃
			24 管理費	5,751,000	市補助、会員会費他
			25 予備費	800,000	〃
			合 計	61,603,000	

◆当協会の令和5年度の当初予算の収支概要です。

体協だより60号を振り返り

体協だよりも60号を迎えました。人というと「還暦」です。振り返ってみると、創刊号は昭和46年9月15日、B4版の少し変則的な大きさ、B5のフラットファイルにぴったり収まる大きさに配慮されており、昭和58年9月10日発行の第8号より題字は(筆者の記憶がただしければ)当時の体協名誉会長太田芳郎氏が筆をとられたと聞いております。タイトルは「体協ニュース」でした。創刊号では座談会を行い、時代の最先端



体協ニュース創刊号

スポーツ情報

前川公園のスポーツ施設につきまして、令和5年9月1日から12月末までの間、グラウンドの利用を少年限定させていただきます。事前にグラウンドのご利用やご来場の注意事項を事前にご確認いただいたうえで、多くの皆様にご活用いただければ幸いです。



前川公園グラウンド

令和6年度(公社)東村山市体育協会事業予定表

(令和6年4月~令和7年3月)

- 春季市民体育大会 4月~7月
- 市民体育大会(秋季) 7月~2月
- 市民体育大会総合開会式 8月
- スポレクフェスティバル 11月
- 東村山みんなで走ろう会 7年3月
- 都民体育大会等選手派遣事業 5月~3月
- スポーツ教室事業 5月~3月 (数種目の教室を実施)
- 柏崎市スポーツ交流 7月~12月
- ジュニア育成地域推進事業 4月~3月 (東京都体育協会からの受託事業として数種目実施)
- 表 彰 9月の総合開会式
- 指導者派遣事業 実施日未定 (市内小中学校にスポーツ指導者を派遣)
- シニアスポーツ振興事業 4月~3月 (東京都体育協会からの受託事業として数種目実施)
- 体育協会創立60周年記念式典 11月

編集後記

昨年5月新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類感染症に移行しました。それに伴い中止されていた体育協会主催の多くの事業が復活し、体協だより第60号は久しぶりに活気のある紙面になりました。次号は新たな名称でより多くの記事を掲載していきます。(T)